

## 「周年事業」にみる100 周年の軌跡

## 渉外委員会

創立 70 周年は平成 4 (1992)年に迎えました。5 年前となる 1987 年グラウンドの全面改修工事に始まり、旧講堂(「集会室」と呼称)の取り壊し、跡地の 3 棟新館(1 階書道室・2 階数学演習室・3 階新図書室)建築、時をおいて第一体育館建築と県単事業が進められ、最後に同窓会 70 周年記念事業「花の木会館」が式典直前に竣工と続きました。



70 周年の記念事業・行事などについて、復刊「恵華」11 号で掲載の「創立 70 周年を記念して」を参考にしご紹介いたします。

### 花の木会館建設

設計 22 回生伊藤一夫氏、施行大井建設株式会社、総工費 1 億 1,200 万円、11 月 1 日竣工式。総 2 階建て、1 階には管理室・資料室などのほかに 50 畳余の洋室(「里仁の間」)、風呂、

記念式典までに行われた工事箇所等(写真は 1993 年卒業アルバム-可知写真館より) 2 階には 55 畳の洋室(「志学の間」)、45 畳の和室(「愛日の間」)、8 畳の茶室(「恵翠の間」)があります。これらは生徒の宿泊研修や学習活動、部活動、また同窓生の会合に使う事を目的としました。命名は生徒から応募の中から選ばれてと名付けられました。

### 七十周年記念誌発行

『城陵七十年』と題されて 4500 冊発行され、式典の日、生徒全員と式典参加者に配布され、また 2 口以上の寄付金寄付者 2534 人に送付されました。この記念誌は 210 頁から成り、前半は旧制中学校と実科女学校の写真集、後半は新制恵那高等学校の沿革史です。写真集の作成に当っては、編集部の要請に応じて数々の貴重な写真が同窓生から寄せられ、50 年史『城陵誌』が補完されることとなりました。

### 70 周年記念同窓会員名簿発行

各卒業回の理事の協力のもとに 19,000 余名の同窓生の名を擁して発行され、2,000 余名の注文者に送られるとともに、式典当日希望者に販売されました。この名簿の単価は 4,000 円、230 余人(法人を含む)の広告掲載によるご協力を得ました。

### 70 周年記念式典

11 月 1 日(日)、第一体育館(改築)、同窓生(512 名)、来賓、生徒、職員、総勢 1,600 余名が



放送部・演劇部もそれぞれ草野さんの進行協力

参加しました。音楽部の「ハレルヤ」斉唱で開幕、草野満代さん(当時 NHK ニュースキャスター、高校 37 回)司会、物故会員に対する黙祷、度会文男実行委員長(同窓会長)式辞、阿部龍輔副実行委員長(同窓会副会長)の経過報告、花の木会館の贈呈、歴代校長・同窓会長・PTA 会長・永年勤続職員等の表彰、来賓祝辞、校歌斉唱、「グローリア」(モーツァルト)の合唱(音楽部)で幕を閉じました。

### 大井文楽『寿式三番叟』上演

体育館柿落しを兼ね、記念公演として文楽「寿式三番叟」の上演(大井文楽 元本校校長渡辺浩光先生(中学 10 回)も加わる)がありました。

### 記念祝賀会

11 月 1 日(日)、午後 13:30 恵那峡国際ホテル、来賓(同窓生除く)40 名を含め 340 名出席

### 校誌展

11 月 1 日(日)~4(水)日、花の木会館、「愛日寮」寮看板、卒業アルバム、旧中「恵華」、写真、校章、バッジ等、旧木造校舎模型と映画「青い山脈」ビデオ上映が人気を集めました。

### 美術展

11 月 1 日(日)~4(水)日、第二体育館、同窓生、芸術科担当旧職員・現職員等の作品、特に中川とも・尾関重之助両先生の芝居絵・油絵が注目されました。

### 校歌・応援歌収録 CD 制作

歌/東京混声合唱団, 恵那高等学校音楽部

演奏/J.S.M オーケストラ

収録曲/校歌(斉唱), 城陵歌, 優勝旗授与の歌,

東雲高く, 見よさんぜんと, 紫こむる高原,

校歌(混声四部合唱), 校歌・城陵歌(伴奏)



CD ジャケット

この CD は 70 周年記念として記念式典参加者(同窓生・在校生徒・職員)に配布されましたが、これ以降、新入生に対し同窓会入会記念品として贈られています。



この記念事業の遂行には、左の写真にあるように受付・案内係を生徒がつとめ、好評を得ました。以後の周年行事等においてもそれが踏襲されています。

節目となる周年事業ですが、とりわけ 70 周年は旧中からの「卒業」の節目でもありました。グラウンドの全面改修、伝統建物をの取壊し、次代にあわせた建築、そして何よりも同窓会を牽引して来られた旧中の皆さんがバトンを 100 周年に向けて我々に託された節目でした。